

第1回病害虫発生状況調査(速報)

6月18日に美方郡内24ヶ所の調査ほ場にて病害虫発生状況調査を行いました。
その結果をお知らせします。

〔 病 害 〕

イモチ・紋枯病等の発生は見られませんでした。

〔 虫 害 〕

- ・ 山間部で、イネミズゾウムシ、イネアオムシによる葉の食害が見られました。
- ・ 郡内全域でイネツトムシの食害が見られました。例年より発生が早く、数も若干多めとなっていますが防除基準には達していません。

〔 対 策 〕

- ・ 箱施用剤を処理していれば、現在のところ防除の必要はありません。
- 今後の発生状況に注意してください。

◆水管理について（下葉に注目）

今回の調査では、深水管理しているほ場で下葉が黄色に変色している稲を多く見かけました。原因としてガスの発生により根が弱っていることが考えられます。

分けつが確保できた田は、ほ場の条件に合わせて、中干し、溝切りを行いましょう。

◆今からはじめるカメムシ対策

近年、カメムシの食害による斑点米により等級落ちが増加しています。

カメムシによる斑点米を防ぐ方法は適期防除が一番ですが、カメムシの好むイネ科の雑草を田んぼの近くから減らすことが大切です。

この時期には雑草が急速に成長してきます。畦まわりの草刈をすることによって、カメムシの好むイネ科の雑草（エノコログサなど）が穂を出さないように、こまめに管理しましょう。

また、田んぼの中にヒエが発生するとカメムシを誘引することとなりますので、ほ場内の雑草にもご注意ください。